



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社クレステック 上場取引所 東
コード番号 7812 URL <https://www.crestec.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 栗沢 威臣
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 三輪 雅人 TEL 053-439-0315
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	4,746	△0.7	388	11.4	222	△43.3	156	△39.5
2024年6月期第1四半期	4,778	△11.8	348	43.6	391	12.7	257	7.3

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △563百万円 (—%) 2024年6月期第1四半期 435百万円 (6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	50.65	—
2024年6月期第1四半期	83.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期第1四半期	18,899	8,522	39.9	2,448.39
2024年6月期	19,768	9,228	41.4	2,653.08

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 7,546百万円 2024年6月期 8,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	43.00	—	46.00	89.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	38.00	—	38.00	76.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,931	△0.7	1,282	8.6	1,245	△3.5	767	△15.7	249.05

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期1Q	3,248,900株	2024年6月期	3,248,900株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	166,670株	2024年6月期	166,670株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期1Q	3,082,230株	2024年6月期1Q	3,082,230株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、これまでの円安基調が少し落ち着き、徐々に企業の価格転嫁なども進む中、引き続きインバウンドの増加による経済効果などもあり、概ね回復傾向にありました。しかしながら、中国経済の停滞や世界的な景気の不透明感、加えてインフレによる消費低迷の兆候や多くの製造企業での在庫調整などもあり、引き続き先行きの見えない状況が続きました。

一方、世界経済においても、各国におけるインフレ抑制政策の効果は現れてきたものの、全体的には不透明な状況でした。米国では、内需を中心に経済は好調を維持する状況でした。欧州でも引き続き高インフレ状態ではあるものの経済状況はやや回復傾向となっています。中国では、米国との経済対立や不動産市況の悪化などの影響による景気停滞が続く不透明な状況となっています。東南アジア/南アジアでは、多くの製造企業で生産活動は概ね回復傾向にあるものの、一部の顧客では、販売不振による生産調整もありました。

こうした経済状況のもと、当社グループの主要顧客である日系メーカーでは、各国の経済活動への規制緩和により景気回復が進む中、一部ではインフレによる販売低迷などから、新製品投入の延期や開発案件の絞り込みなどによる影響もありましたが、徐々に回復傾向に進みつつあります。その一方で、一時的にドル安が急激に進行した結果、ドル建て資産が多い、日本、インドネシアにおいて為替差損が発生しました。

このような中、当社グループでは、今期からスタートしました新経営体制のもと、新中期経営計画「CR Challenge 27」を策定し、“グローバル化に向けた新たな挑戦”への取り組みを始めました。

この新中期経営計画の“事業強化戦略”であるグローバル/外資系企業との取引拡大や、既存企業との取引拡充を推進するため、当社の強みであるグローバルネットワークを活かしたサービス力やグループの連携力の更なる強化を図る“体制強化”に全力で取り組んでおります。新たに“Challenge”をテーマに、引き続き企業基盤の確立と安定化を図りながら、次なる10年に向けた新領域の事業及び、既存事業の拡大に注力し、ドキュメント業界で世界に誇れる日本企業を目指してまいります。

このような状況のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,746,948千円（前年同期比0.7%減）、営業利益は388,550千円（前年同期比11.4%増）、経常利益は222,180千円（前年同期比43.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は156,102千円（前年同期比39.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

① 日本

取引先における新製品投入の延期や開発案件の絞り込みなどによる影響で、輸送機器関連、電器関連など主要顧客全体で取引は低調でしたが、徐々に回復傾向に進みつつあります。

このような状況のもとで、日本では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,179,804千円（前年同期比8.3%減）、セグメント利益は14,705千円（前年同期比84.0%減）となりました。

② 中国地域

華東地区では、季節要因や景気悪化などの影響で医薬品関連の取引が軟調だったことに加え、日系メーカーとの取引も引き続き低調でした。更に、蘇州新工場の関連コストの増加もあり利益減となりました。また、中国国内市場向けプロモーション関連の取引も中国経済の停滞により引き続き低調でした。華南地区では、一部の顧客の生産活動に回復は見られるものの、中国から他国への断続的な生産移管もあり全体的に取引は軟調となりましたが、完全商社化以降は収益を維持しています。

このような状況のもとで、中国では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,069,961千円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は9,141千円（前年同期比90.8%減）となりました。

③ 東南アジア/南アジア地域

フィリピンでは、前期から進めている体制変更や事業の見直しにより、取引は減少傾向にあるものの、引き続き税引後の収益性は改善しました。インドネシアでは、医薬品関連の新規取引や生活用品・ヘルスケア用品などの新事業分野の顧客との取引が堅調に推移したことに加え、既存顧客との取引も回復傾向でした。タイでは、主要顧客の生産調整は落ち着き、取引も改善傾向になりました。ベトナムでは、医療機器関連を中心に生産活動は徐々に回復傾向ではありますが、全般的に取引は低調でした。インドでは、生産活動の回復傾向により、取引も増加しています。

このような状況のもとで、東南アジア/南アジアでは、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,836,776千円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は267,252千円（前年同期比151.3%増）となりました。

④ 欧米地域

米国では、主要顧客である輸送機器メーカーとの取引が堅調に推移していることに加え、他の輸送機器メーカーとの新規案件の取引開始やスポットでの大型印刷案件の受注もあり、全体的に堅調でした。欧州では、玩具系電器メーカーとの取引が継続的に安定していることに加え、輸送機器メーカーとは新規モデル投入案件の受注もあり取引は拡大し、前年より増収増益となりました。

このような状況のもとで、欧米では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は660,405千円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益は102,955千円（前年同期比108.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産合計)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は11,007,404千円となり、前連結会計年度末に比べ297,881千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が136,867千円、商品及び製品が120,013千円、売掛金が96,483千円減少したことによるものであります。

固定資産は7,881,849千円となり、前連結会計年度末に比べ577,080千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が514,117千円、投資その他の資産が50,178千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は18,899,546千円となり、前連結会計年度末に比べ869,025千円減少いたしました。

(負債合計)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,486,647千円となり、前連結会計年度末に比べ225,621千円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が101,000千円増加しましたが、未払金が267,126千円、1年内返済予定の長期借入金が60,768千円減少したことによるものであります。

固定負債は3,889,948千円となり、前連結会計年度末に比べ61,804千円増加いたしました。これは主に長期借入金が214,406千円、役員退職慰労引当金が40,077千円、リース債務が29,997千円減少しましたが、社債が364,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は10,376,595千円となり、前連結会計年度末に比べ163,816千円減少いたしました。

(純資産合計)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,522,950千円となり、前連結会計年度末に比べ705,208千円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が643,775千円、非支配株主持分が74,312千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期連結業績につきましては、2024年8月14日の「2024年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,682,722	5,545,854
受取手形	145,116	120,548
売掛金	3,145,079	3,048,596
商品及び製品	766,649	646,636
仕掛品	630,325	680,564
原材料及び貯蔵品	328,244	337,258
その他	1,185,308	1,143,197
貸倒引当金	△578,160	△515,252
流動資産合計	11,305,286	11,007,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,764,097	3,478,489
機械装置及び運搬具(純額)	1,950,370	1,774,198
工具、器具及び備品(純額)	231,698	229,003
土地	984,082	971,258
建設仮勘定	72,137	44,718
その他(純額)	117,363	107,963
有形固定資産合計	7,119,750	6,605,632
無形固定資産		
のれん	85,987	78,415
顧客関連資産	146,153	142,499
その他	32,072	30,513
無形固定資産合計	264,213	251,428
投資その他の資産		
投資有価証券	109,505	102,329
繰延税金資産	625,382	591,077
その他	345,463	336,765
貸倒引当金	△5,385	△5,385
投資その他の資産合計	1,074,966	1,024,787
固定資産合計	8,458,929	7,881,849
繰延資産		
社債発行費	4,356	10,292
繰延資産合計	4,356	10,292
資産合計	19,768,571	18,899,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,144,792	1,107,046
短期借入金	2,903,562	2,936,280
1年内償還予定の社債	80,000	181,000
1年内返済予定の長期借入金	913,776	853,008
リース債務	199,272	173,808
未払法人税等	176,604	146,124
賞与引当金	117,103	196,083
未払金	1,072,176	805,049
その他	104,979	88,244
流動負債合計	6,712,268	6,486,647
固定負債		
社債	280,000	644,000
長期借入金	2,163,982	1,949,576
リース債務	372,640	342,643
役員退職慰労引当金	139,640	99,563
退職給付に係る負債	764,515	752,939
製品保証引当金	4,409	4,250
繰延税金負債	102,954	96,974
その他	—	—
固定負債合計	3,828,144	3,889,948
負債合計	10,540,412	10,376,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	215,400	215,400
資本剰余金	200,209	200,209
利益剰余金	6,087,146	6,101,466
自己株式	△128,925	△128,925
株主資本合計	6,373,831	6,388,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	850	△1,716
為替換算調整勘定	1,871,045	1,227,270
退職給付に係る調整累計額	△68,323	△67,197
その他の包括利益累計額合計	1,803,572	1,158,356
非支配株主持分	1,050,755	976,443
純資産合計	9,228,159	8,522,950
負債純資産合計	19,768,571	18,899,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,778,996	4,746,948
売上原価	3,375,223	3,316,060
売上総利益	1,403,773	1,430,887
販売費及び一般管理費		
役員報酬	19,730	21,855
給料	415,398	403,344
賞与引当金繰入額	37,815	34,335
役員退職慰労引当金繰入額	2,433	5,226
退職給付費用	31,674	29,250
貸倒引当金繰入額	4,716	2,853
減価償却費	53,429	57,479
のれん償却額	7,572	7,572
賃借料	62,115	56,215
研究開発費	10,281	13,119
その他	409,715	411,084
販売費及び一般管理費合計	1,054,884	1,042,336
営業利益	348,889	388,550
営業外収益		
受取利息	4,436	6,418
受取配当金	—	81
作業くず売却益	16,408	11,669
為替差益	42,970	—
その他	11,497	21,564
営業外収益合計	75,313	39,733
営業外費用		
支払利息	29,668	38,153
社債利息	—	273
社債発行費償却	—	256
為替差損	—	159,315
その他	2,654	8,105
営業外費用合計	32,323	206,103
経常利益	391,879	222,180
特別利益		
固定資産売却益	9	2,328
特別利益合計	9	2,328
特別損失		
固定資産除却損	—	76
特別損失合計	—	76
税金等調整前四半期純利益	391,888	224,432
法人税、住民税及び事業税	101,811	60,268
法人税等調整額	8,853	7,241
法人税等合計	110,665	67,510
四半期純利益	281,222	156,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,392	819
親会社株主に帰属する四半期純利益	257,830	156,102

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	281,222	156,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	854	△2,566
為替換算調整勘定	148,044	△718,907
退職給付に係る調整額	5,227	1,125
その他の包括利益合計	154,126	△720,348
四半期包括利益	435,349	△563,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	388,908	△489,113
非支配株主に係る四半期包括利益	46,440	△74,312

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	196,118千円	195,346千円
のれんの償却額	7,572千円	7,572千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア/ 南アジア地域	欧米地域	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	1,235,869	1,136,786	1,786,125	569,066	4,727,847	—	4,727,847
一定の期間にわたり 移転されるサービス	51,148	—	—	—	51,148	—	51,148
顧客との契約から生 じる収益	1,287,017	1,136,786	1,786,125	569,066	4,778,996	—	4,778,996
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,287,017	1,136,786	1,786,125	569,066	4,778,996	—	4,778,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111,682	17,035	8,418	21,431	158,568	△158,568	—
計	1,398,700	1,153,822	1,794,544	590,497	4,937,565	△158,568	4,778,996
セグメント利益	92,092	99,540	106,338	49,447	347,419	1,469	348,889

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア/ 南アジア地域	欧米地域	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	1,133,859	1,069,961	1,836,776	660,405	4,701,003	—	4,701,003
一定の期間にわたり 移転されるサービス	45,944	—	—	—	45,944	—	45,944
顧客との契約から生 じる収益	1,179,804	1,069,961	1,836,776	660,405	4,746,948	—	4,746,948
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,179,804	1,069,961	1,836,776	660,405	4,746,948	—	4,746,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101,499	14,855	13,825	31,401	161,582	△161,582	—
計	1,281,304	1,084,817	1,850,601	691,807	4,908,530	△161,582	4,746,948
セグメント利益	14,705	9,141	267,252	102,955	394,054	△5,503	388,550

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。